

## 2011年度 機器・分析技術研究会 報告書

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2012-04-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 後藤, 克嘉 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.14945/00006574">https://doi.org/10.14945/00006574</a>

# 2011 年度 機器・分析技術研究会 報告書

後藤 克嘉

工学部技術部 情報・分析グループ

2011年9月8日(木)～9日(金)の2日間で行われた機器・分析技術研究会に参加してきた。今回の参加で計4回目であったが、今回の研究会は東日本大震災関連の口頭発表から始まるという形式であり、今までにない開催方法であった。

東日本大震災関連の報告はすべてで5件であったが、どの発表も震災のすさまじさを物語っており、非常に印象に残るものであった。震災の中であっても大学機関として安全衛生、復旧支援、さまざまな活動が行われたことを実感できる発表内容であった。

その後、信州大学カーボン科学研究所所長 遠藤守信教授の特別講演が「日本再生と科学・技術の使命 ～低炭素化社会への加速とカーボンテクノロジーを例として～」という演目で行われた。

2日目はポスター発表から行われ、全てで56件の発表があった。

自身もポスター発表で参加し「走査型電子顕微鏡の低真空分析習得への取り組み」という題目で発表を行い、低真空分析についての質問等もあり、有意義な発表となった。ポスター発表終了後にも質問を受け、中には共同利用機器センターについての質問もあり、他大学でも共同利用機器センターで行っている学外利用について注目を受けていることが感じられた。ほかの発表者の発表も自分と同じテーマや予約システムの開発についての報告もあり、参考になった。また、次回の機器・分析技術研究会に参加することになったら、オーラルでの発表を目指してみたいと思う。

ポスター発表終了後は口頭発表が行われ、2会場に分かれて22の発表が行われた。口頭発表では共同利用機器センターで担当している機器の発表も行われ、自身の業務に反映していきたいと感じた。



	8:30	11:00	12:00	16:15	18:00	19:30
9/8 (木)		受付	開会式	震災関連セッション	特別講演	情報交換会
9/9 (金)	9:00	12:00	13:00	17:00		
	ポスター発表	口頭発表		口頭発表	開会式	

図 2011 年度 機器分析技術研究会のポスターと日程表